

給食たより

R2年度 第1号

園では数年前から子どもたちに合わせた食具・食器選びを心がけています。

〈 テーマ：子どもの発達に合わせた食具を知ろう！ 〉

下鳥羽こども園 601-3963

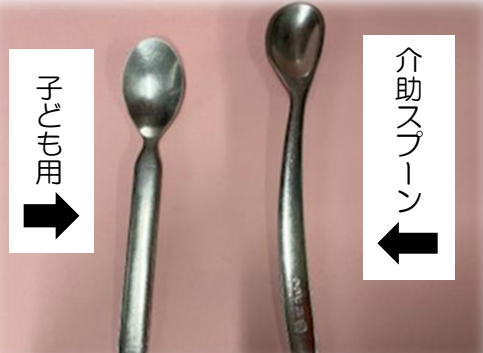
今年度より、3歳児用スプーンを導入！

乳児

口に入る部分が平たいのでスプーンに食べ物が残らず、口の中にとりこみやすい！



お皿



子ども用

介助スプーン



汁椀



コップ

周りに返しがついているので自分ですくいやすい！

両手で包むように持てる！



キャラクターものなどは子どもの発達に合わないものが多々あります。
乳児用スプーンとまた違い、柄が長く、手に沿うようにカーブしています。給食時に使用しています。
手にとてもフィットし、持ちやすく食べやすいようです。
ご家庭から持参してもらっているものは、おやつ時、必要なときに使用させていただいています。

幼児



幼児期は食事のマナーを理解でき、正しい食習慣を身につける時期でもあります。主食、主菜、副菜、汁物とみんな別々に盛ることで“三角食べ”ができます。いろいろなものが食べることができるので偏りが少ない食べ方です。



発達に合わせた食具は自分で食べるという意欲にも繋がります。乳児期には手づかみ→スプーンとなり、大きく発達する時期です。そして、その段階を踏んで最終お箸が正しく持てるようになります。それをサポートするのが正しい食具・食器です。ぜひ、ご家庭でも正しい食具・食器選びを試みてはいかがでしょうか。

